

第8章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2022年4月現在29地点で試掘及び発掘調査を行っている。

II 江川東遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2021年2月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2021年5月6日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後に人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約80cmである。

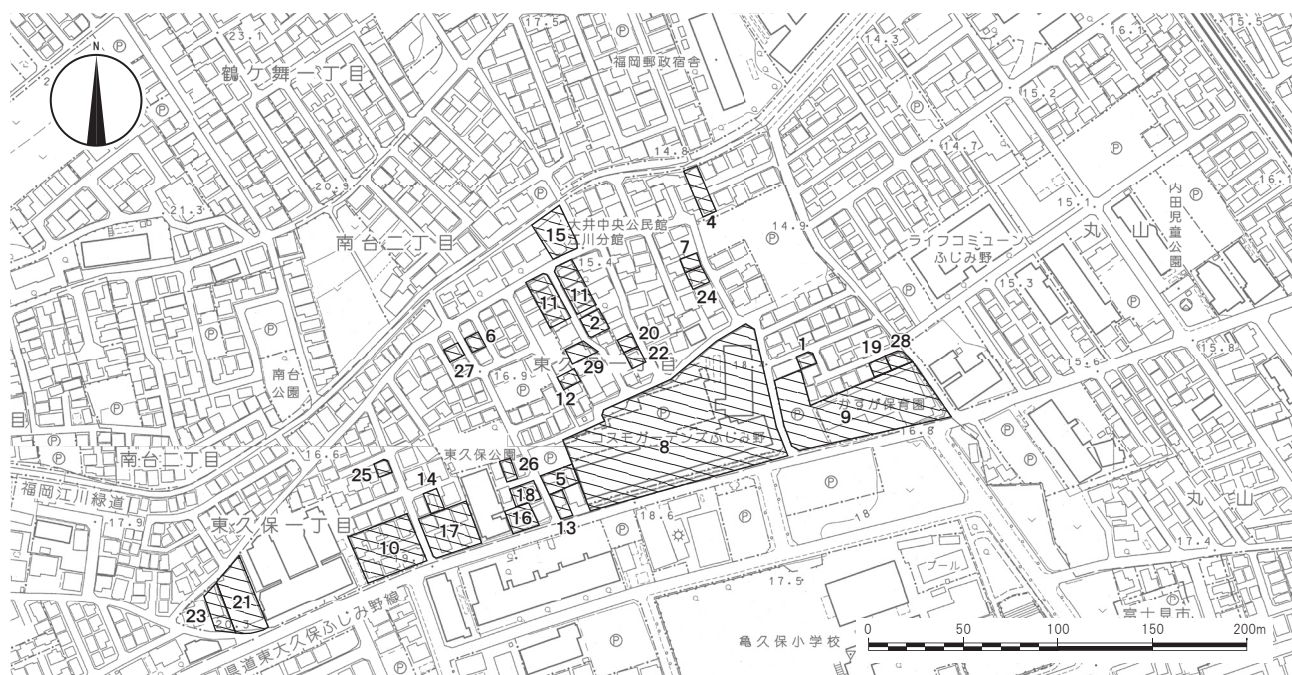
調査の結果、溝2条を検出したが保護層の確保が可能なため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 溝

【溝1】 断面形態はU字形を呈し、上幅41cm、下幅13cm、深さ32.8cmを測る。出土遺物はない。

溝は調査区の中央部で検出した。南北方向に走行し、トレンチ1では溝2と合流する。土層の観察から、



第23図 江川東遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 12 表 江川東遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	東久保 1-145-14	(1994.3.24・25)	52		個人住宅	溝、縄文土器 等		町内Ⅲ
2	大字東久保 1-162-34	1995.1.20～2.6	191		個人住宅	土坑、ビット、フレーク 等		町内Ⅳ
欠番								
4	東久保 138-4 他	(1996.1.24～29)	246		個人住宅	溝、ビット、遺物なし		町内Ⅴ
5	東久保 1-155-6	(1998.6.1～9)	164		土地分譲	ビット、遺物なし		町内Ⅷ
6	東久保 1-168-7	(2001.7.17)	71	(15)	個人住宅	遺構遺物なし		町内Ⅺ
7	東久保 1-160-47	(2003.4.7)	88		個人住宅	遺構遺物なし		町内Ⅻ
8	東久保 1-150 他	(2004.3.25～4.7)	6137		共同住宅	土坑、溝、遺物なし		町内Ⅻ
9	東久保 1-6-19	(2004.4.9～5.10) 2004.5.11～19	464		保育園	ビット、溝、縄文土器 等		町内Ⅻ、大調 14
10	東久保 1-174-1・36	(2005.10.13～24)	881	(267)	分譲住宅	土坑、ビット、遺物なし		市内 2
11	東久保 1-162-1・14	(2006.11.9～17)	674	(200)	分譲住宅	土坑、ビット、遺物なし		市内 3
12	東久保 1-27-3	(2006.11.10)	72	(6)	宅地造成	遺構遺物なし		市内 3
13	東久保 1-155-4	(2006.8.11)	114	(24)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 3
14	東久保 1-174-38	(2007.5.25～29)	67	(30)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 4
15	東久保 1-136-5	(2007.9.11～13)	344	(91)	公民館分館	遺構なし、須恵器		市内 4
16	東久保 1-176-13～16	(2009.9.14・15) 2009.9.16～18	148.5	(63) 63	個人住宅	集石土坑、縄文土器		市内 8
17	東久保 1-177-1	(2009.12.10～18)	556	(156)	地下埋設物調査	遺構遺物なし		市内 8
18	東久保 1-176-9	(2011.11.28)	72	(21)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 14
19	東久保 1-146-6	(2012.7.24)	74.2	(13)	個人住宅	ビット、遺物なし		市内 15
20	東久保 1-160-29	(2013.7.30)	71.94	(11)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 18
21	東久保 1-180-1	(2013.11.21・22)	570	(30.5)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 18
22	東久保 1-160-30	(2014.9.30～10.1)	72.44	(11)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
23	東久保 1-180-11	(2014.10.10)	180	(29.4)	個人住宅	遺構なし、土器		市内 20
24	東久保 1-32-12	(2015.11.27)	91.92	(6)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 22
25	東久保 1-16-21	(2019.3.12)	63.4	(9.4)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
26	東久保 1-176-6	(2019.11.7)	72	(13.2)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
27	東久保 1-169-3	(2020.12.10)	63.14	(7.4)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 26
28	東久保 1-146-5	(2021.5.6)	105.99	(9.8)	分譲住宅	溝、遺物なし		市内 27
29	東久保 1-162-22	(2021.5.20)	113.79	(18.3)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 27

溝 1→溝 2 の順に掘削されたと考えられる。いずれの溝からも出土遺物は検出されなかったため、時期は不明。

【溝 2】 溝 2 は、溝 1 の西側に隣接する。断面形態は U 字形を呈し、上幅 128 cm、下幅 17 cm、深さ 28.5 cm を測る。出土遺物はない。

Ⅲ 江川東遺跡第 29 地点

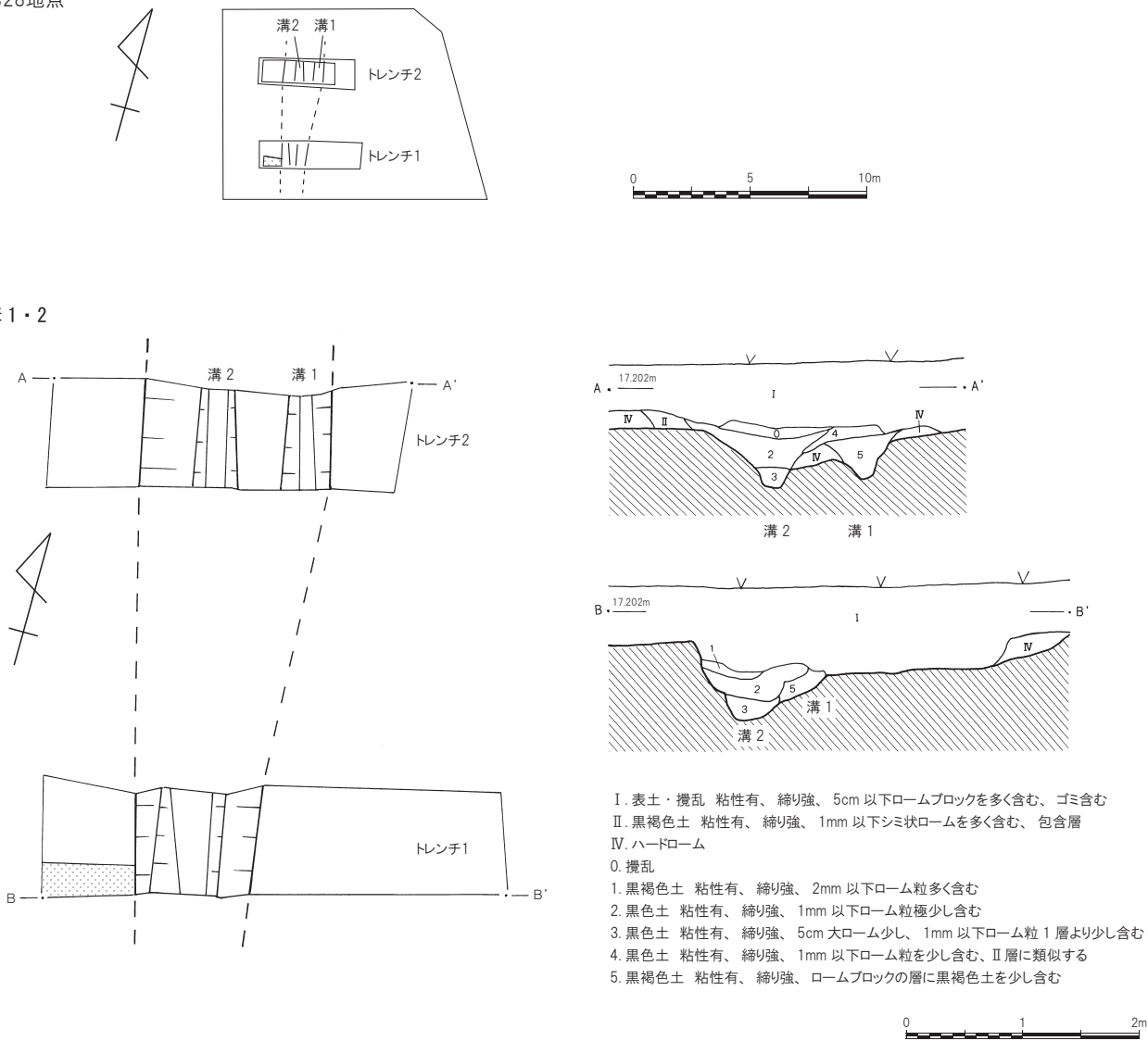
(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2021 年 5 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2021 年 5 月 20 日に試掘調査を実施した。

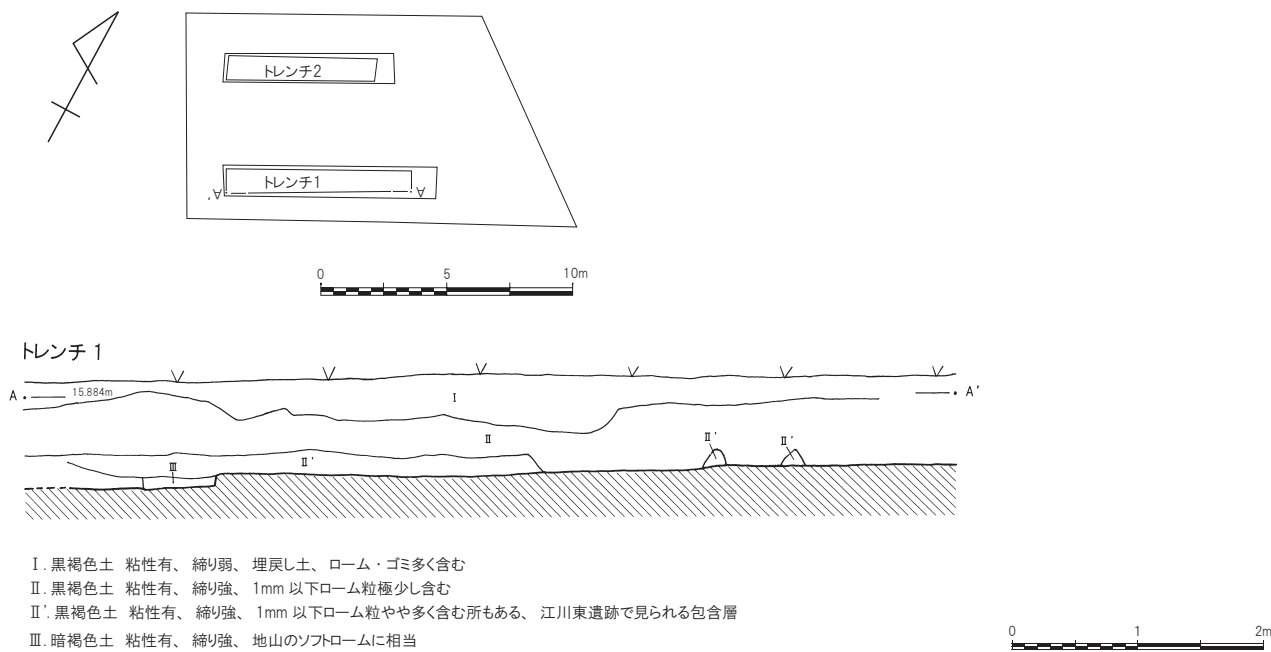
試掘調査は幅約 1.2m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後に人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第28地点



第29地点



第 24 図 江川東遺跡第 28 地点遺構配置図・第 29 地点調査区域図 (1/300)、第 28 地点溝・第 29 地点土層 (1/60)



江川東遺跡第 28 地点トレンチ 2 溝 1・2



江川東遺跡第 28 地点調査風景



江川東遺跡第 29 地点トレンチ 1



江川東第 29 地点調査風景